

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
港南中央 地域 ケアプラザ	(社福) 横浜市福祉サービス協会	A	<p>【地域活動・交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 毎年工夫を凝らした「オレンジリボンたすきリレー応援イベント」を企画され、多世代がつながり、交流できる場になっています。また、人が集まる魅力的なツールをうまく取り入れていることで多くの来場者があり、ケアプラザや子ども虐待防止運動について周知、理解啓発ができる機会となっています。 ● ボランティア活動希望者の個別の活動ニーズを把握し支援されていることで、社会参加への第一歩を踏み出すきっかけづくりに取組まれています。 ● 「発達障害」啓発講座では、発達障害の特徴や相談機関を周知し、保護者の「育てにくさ」を啓発する取組が行われています。発達障害の理解を深めることで、当事者の不安を軽減し、保護者が安心して子育てできる環境づくりにつながっています。 <p>【生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報交換会前にサービス提供責任者やケアマネジャーにアンケートをとる等、福祉ネットワークやインフォーマルサービスを知ってもらう工夫をされています。 ● ニーズと資源を可視化できるマップに落とし込むことで、町内会・丁目ごとの質の高い分析に役立っています ● おでかけ〇〇たいや介護予防・生活支援サービス補助事業の意見交換会など区域を越えた活躍で他区にもよい影響を与えています。 <p>【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 担当地域が広く、対象人口も多く、相談件数が増加しています。自治会やサロンなどに出張相談を実施し、より相談しやすい体制を工夫しました。 ● 5職種会議でアセスメントシートを用い、それぞれの視点で情報交換しながら地域の現状と課題を細かく把握しています。 ● 認知症事業として、認知症サポーター養成講座をキャラバンメイトと協力し今年度は中学生を対象に実施しました。事前に学校の先生や福祉委員会と丁寧に調整し充実した内容となりました。 また、地域性を活かし金融機関を対象に開催し、全行員が受講できるよう出張講座とするなど工夫し、認知症への理解を広げました。 ● ケアマネジャーが主治医に聞きづらいことを質問するなど、ドクターのいるサロンが役に立っています。さらに、ケアマネジャーと福祉ネットワークの情報交換会を実施し、地域の支援者につながるよう取組みました。また、事業所訪問、担当者会議の参加、同行訪問等をきめ細かく実施し、ケアマネジャーが気軽に相談できる関係をつくりました。